

第3号様式（第3関係）

第2回豊山町高齢者保健福祉審議会議事録

- 1 開催日時 平成26年12月16日（火）午後2時00分～午後3時30分
- 2 開催場所 豊山町役場3階 会議室5
- 3 出席者
 - (1) 委員 7名
井上宜昌、江崎弘、安藤律子、小泉チエ子、小坂啓史、寺町信秀、永末美智子
※欠席者：1名 小原輝彦
 - (2) 事務局
福祉課長 小川淳之、高齢者・介護係係長 横田仁美、高齢者・介護係主任 森川泰成、地域包括支援センター保健師 長友妙子
 - (3) オブザーバー
（株）創建環境エンジニアーズ 小川哲也
- 4 議題
 - (1) 第7次豊山町高齢者福祉計画・第6次介護保険事業計画の素案について
 - (2) 認知症ケアパスの作成について
 - (3) その他
- 5 会議資料
資料1：第7次豊山町高齢者福祉計画・第6次介護保険事業計画（素案）
資料2：認知症ケアパスの作成について

6 議事内容

司 会	それでは、ただ今から、平成26年度第2回高齢者保健福祉審議会を開会いたします。 私は、本日の審議会の司会進行を務めさせていただきます高齢者・介護係の森川です。 よろしく申し上げます。 本日は、小原委員から欠席のご連絡をいただいておりますのでご報告します。 続きまして、本日の配布資料の確認をさせていただきます。 （配布資料の確認）
-----	--

	<p>今回の審議会の議事録は、前回と同様、町公式ホームページに掲載させていただくこととなりますので、あらかじめご了承をお願いします。</p> <p>それでは、開会にあたりまして井上会長から一言ご挨拶をいただきます。</p>
会 長	<p>本日は、お足もとの悪い所、ご参加いただきましてありがとうございます。</p> <p>今朝、新聞を見ましたら、老老介護の夫婦の方が亡くなっていたという記事が掲載されていました。今日の会議にも関係する内容と思い、関心をもって記事を読みました。</p> <p>中川区在住の80歳代の方だそうで、発見者が住宅の改装業者の方だったそうですが、私としては民生委員さん等、公的な事に関与されている方が見守りや声かけした際に発見されたということであれば良かったのではと思いました。</p> <p>私も亡くなられた方と年齢的に近いこともあり、我々の場合だったらどうだろうと悲慘な思いで記事を読みました。</p> <p>本日は、このようなことを踏まえて計画案を十分に精査していただき、審議していただきたいと思います。</p> <p>それではよろしくをお願いします。</p>
司 会	<p>それでは、以後の会議取り回しにつきまして、井上会長をお願いします。</p>
会 長	<p>それでは、ただ今から、議事の進行をさせていただきます。</p> <p>まず始めに、議事録署名委員の指名についてですが、江崎委員と安藤委員をお願いします。</p> <p>議事録の署名については、事務局が本日の議事録を作成後、署名のお願いに伺いますので、よろしくお願いします。</p> <p>それでは、次第に沿いまして、(1)「第7次豊山町高齢者福祉計画・第6次介護保険事業計画の素案について」、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【資料1の説明】</p>
会 長	<p>説明が終わりました。</p> <p>委員の皆様からご意見・ご質問がありましたら、いただきたいと思えます。</p>
委 員	<p>アンケート調査結果についてですが、一般高齢者と要介護・要支援認定者の区分などがよくわかりませんので、もう一度説明をお願いします。</p>
事務局	<p>P32～33が一般高齢者の方へのアンケート調査結果です。</p> <p>P34～41が要介護・要支援認定者の方へのアンケート調査結果です。</p>

	<p>P 2 5～3 1は、6 5歳以上の方を対象に地域包括支援センターが基本チェックリストという調査票をお配りして得られた回答の調査結果です。</p>
委 員	<p>P 4 8の認知症サポーター養成についてももう少し詳しく説明をお願いします。</p>
事務局	<p>ここでは認知症キャラバンメイトと認知症サポーターという名称が出てきますが、まず認知症サポーターについてご説明します。</p> <p>認知症サポーターは、地域で認知症の方たちを温かく見守っていただく方です。具体的には認知症についての理解をしていただいて、地域で認知症と思われる方と接する時に、偏見の目ではなく温かく見守っていただくことをお願いしている方々です。</p> <p>ボランティア活動をする等の具体的なことではなく、認知症の方々と関わる時の接し方等を学んでいただいています。</p> <p>認知症サポーターを養成する講師を認知症キャラバンメイトと呼んでいます。認知症キャラバンメイトは、都道府県で毎年養成を行っており、豊山町からも毎年2名養成しています。</p>
委 員	<p>認知症サポーターの現状の人数は、何名ですか。</p>
事務局	<p>認知症サポーター養成講座の受講者は、現状2,100名程いらっしゃいます。</p> <p>何回も受講されている方もみえますので重複している方もありますが、健康福祉フェスティバル等で毎年、声をお掛けして養成させていただいています。</p> <p>最近では小中学校のお子さんたちにも勉強していただいていますので、子どものうちから認知症について理解できるように取り組んでいます。</p>
委 員	<p>高齢者の孤独死といった問題を考える際には、事業者に任せることと同時に、豊山町全体が福祉社会として一体となってお互いのつながりを大切にしていくことが必要だと思います。</p> <p>理解して温かく見守ることも大切ですが、そうしてくださいねという感じで終わってしまいそうなので、教育委員会などと協力して子どもたちが認知症の高齢者への理解を深める企画をしたり、社会福祉協議会との関係、つまりボランティアをどのように養成してくのかといったことをもう少し計画に盛り込んだ方が良いと思います。</p> <p>ボランティアを養成する時に、小中学校の子どもたちが参加できるような機会を提供すれば、次につながるワンステップになると思います。</p> <p>子どもたちが積極的にボランティア活動に参加する姿を大人が見ることで、我々大人も参加意識が高まるというように、活動の</p>

	<p>普及につながり、それが福祉社会の充実、高齢者の孤独死の防止などにつながっていくと思いますので、ボランティアの充実といったことも計画に盛り込んだほうが良いと思います。</p> <p>また、一方で事業者に委託することと同時に、住民と協働して取り組むという計画の趣旨を、もう少し色濃く出すと良いと思います。</p>
事務局	<p>認知症キャラバンメイトの方が、認知症サポーター養成講座の中で、お子さん向けに寸劇で認知症への理解を深める活動をされている方がいらっしゃいます。子どもも喜び、良い講習だったというご意見をいただいています。</p> <p>しかしまだ回数が少ないので、今後はもっと回数を増やし、小さい子どもの頃からそのような活動に入っていけるようにしていきたいと思います。</p>
委員	<p>認知症そのものだけではなく、多世代交流という側面も取り入れた方が良いと思います。認知症に特化すると、参加者が身構えてしまいますので、福祉全般的における世代間交流の方法を模索する必要があると思います。</p>
委員	<p>認知症サポーター養成講座を受講しても、認知症サポーターになれたのかどうか分からないという意見が聞かれます。</p> <p>何か資格とか印となるようなものがあれば、周囲へのPRにもなり、それが世代を超えた認知症の理解の普及にもつながると思います。</p>
事務局	<p>今年度から認知症サポーター養成講座を受講していただいた方を対象に、次のステップとして何かボランティア活動にご協力していただけないかをお聞きするアンケートを取り始めています。</p> <p>人数が集まりましたら協力していただける方を対象に、ボランティア養成講座を開催します。また、地域包括支援センターが実施している教室にも参加していただき、地域活動への協力をお願いしたいと考えています。</p> <p>また、認知症サポーター養成講座を受講していただいた方には、オレンジリングというものを啓発品として配布しています。</p> <p>受講したという自覚を持っていただき、その後の生活に役立っていただきたいと思います。</p>
委員	<p>シルバー人材センターで働いている方で、早期の認知症ではないかと思われる方が散見されます。</p> <p>家族の方は認めたくないのか、「大丈夫ですよ。働かせてください。」と言われるので、シルバー人材センターとしては申し出に応じて、軽度な仕事を割り振っています。</p> <p>しかし、それすらもできない状態でも大丈夫かなと思いながら</p>

	<p>仕事をお願いしている状況で、このような場合に役場や地域包括支援センターに報告すべきかどうか躊躇しています。</p> <p>そういった場合の対応が計画にはないように思われますので、その点の支援とか見守りについてはどうすればよいのでしょうか。</p>
事務局	<p>総合的な相談窓口は、地域包括支援センターです。</p> <p>地域包括支援センターに状況を報告していただければ、基本チェックリスト等の情報と照らし合わせて、必要な支援に結びつけることが可能です。</p>
委員	<p>仕事にこだわるのではなく、世代を超えた子どもと高齢者の交流会、例えば高齢者が子どもに昔の遊びを教えるといったものを企画されてはいかがでしょうか。</p> <p>そういったことで高齢者が仕事という枠を超えて、地域社会に貢献できると思います。</p>
事務局	<p>高齢者福祉計画では、高齢者の地域での役割の重要性について明記しています。</p> <p>高齢者が持っている知識を活かして、子どもたちとのふれあいの場を設けるということは、すごく温かい事業ができると思いますので検討していきたいと思います。</p>
委員	<p>「認知症に関する集い」という名称だと、避けたり参加しない方がいると思います。</p> <p>本人も家族も認知症と認めたくないのです。物忘れがひどくなったというものの、認知症だと言われたらカチンとくるのです。</p> <p>認知症を探し合う会になってしまっただけでは、誰も嬉しくありません。行事に参加して、ふれあいの中でそれとなく見つけ合ったり、自覚して認知症を防いだりできれば良いのではないかと思います。</p>
委員	<p>そういった集いに「認知症」という看板を掲げる必要はないと思います。色んな世代が集まって、子どもたちに昔はこんな面白い遊びがあったよと伝えられれば良いです。</p>
委員	<p>シルバー人材センターは、会員に働いていただいて配分金をお支払いするという形ですので、怪我があってはならない、相手に迷惑をかけてはいけないという観点からしか、会員の方をチェックする機能がありません。</p> <p>現在、他世代との交流というと、年1回、自転車教室で子どもたちと一緒にやるぐらいです。他には特にありませんので各学校と連携して、子どもと高齢者が交流できる事業を検討したいと思います。役場からの支援もお願いしたいと思います。</p> <p>交流会のような形が理想ですが、今、シルバー人材センターで</p>

	<p>は、ふれあい農園という農園作業を行っています。</p> <p>その時には小学校の生徒さんに芋の苗を植えてもらって、収穫の時には収穫した芋をお土産に持ち帰ってもらっています。</p> <p>これまで新栄小学校の生徒30人ぐらいを予定してやっていましたが、今年は豊山小学校でもやり、各小学校単位で広げられればいいなと思います。</p> <p>その時には認知症のことは考えていません。ただ、交流し収穫の喜びを子どもたちに教え、お爺さんやお婆さんたちはそれを見て喜ぶということで行っています。</p> <p>できることは極力お手伝いしたいのですが、何せアイデアが乏しいものですから、役場の方の先導をお願いしたいと思っています。</p>
会 長	委員の皆様のご意見等もないようですので、議題の(1)「第7次豊山町高齢者福祉計画・第6次介護保険事業計画の素案について」は、終わります。
会 長	続きまして、(2)「認知症ケアパスの作成について」、事務局から説明をお願いします。
事務局	【資料2の説明】
会 長	説明が終わりました。 委員の皆様からご意見・ご質問がありましたら、いただきたいと思えます。
委 員	認知症に特化して認知症ケアパスを作成されたということですので、ちょっと的外れかもしれませんが、例えば介護全般に関わるようなものを作成することはいかがでしょうか。
事務局	認知症ケアパスは今年度、国から作成指示があったものですので認知症に特化して考えていましたが、認知症に限らず介護保険サービスを利用されている方でも参考にさせていただけるようにしたいと思っています。
委 員	<p>高齢者世帯だけではなく、町民の幅広い方にこういったものがあるということを認知してもらうことも必要だと思います。</p> <p>認知症に特化してしまう限り、家族の側からすればチェック項目があった方が良くかもしれませんが、認めたくないということもあるので、その辺が難しいということもあって、「介護全般に関するようなものを」ということを述べさせていただきました。</p> <p>その中で認知症のことが一つの項目としてあれば認知症に特化しているわけではないので、それほど抵抗感はないと思います。</p> <p>認知症カフェですが、これもそういう意味では少し露骨で抵抗感があるのではないかと思います。</p>

事務局	<p>認知症カフェは、国の示した通称名です。</p> <p>認知症やその家族の方々だけでなく色んな方が集う場所にしたいと考えています。認知症というと身構えてしまいますので、できる限り抵抗感なく、来ていただけるような名称を考えています。</p>
委員	<p>こういった集う場所は、大切だと思います。</p> <p>子育てについてですと、ママ友がいるかいないかでは、子育ての負担感がかなり違うと聞いたことがあります。</p> <p>要介護者や介護家族の方たちが、話し合いをする場所が有るか無いかで、負担感は違ってくると思いますので、認知症カフェそのものは非常に重要だと思います。</p>
事務局	<p>豊山町らしい馴染みのある、皆さんが行きたいなと思うような名称を考えていますので、皆さんからも是非ご意見をお願いします。</p>
委員	<p>シルバー人材センターでも一時期、カフェやうどん屋を展開しようという案を出したのですが、この辺は喫茶店がたくさんあるので他のお店を圧迫するようではいけませんし、食物を扱うとなると保健衛生の関係上、資格を取得しなければならない等の問題があり、二の足を踏んで断念した経緯があります。</p> <p>私自身は毎週土曜日に仲間が集まって、物忘れが多くなったのではないかと、お互いに指摘し合って自分なりにチェックするといった交流をしています。そういった交流の場を公の所につくることは賛成です。</p>
委員	<p>認知症のことなのですが、私の父母は既に亡くなっていますが、実は父の認知症に気付いていなかったのです。</p> <p>ある時、いところから「お父さんの一周忌の時にお金を包んで持ってきてもらったのだけれど、袋の中にお金が入ってなかった」、「あなたのお父さんもしかしたら認知症ではないの」と言われた時に、やはり私は「違うと思う、ただの入れ忘れだと思う」と言って突っぱねたのです。</p> <p>しかし、後で父が病気で倒れた時に認知症だということが判ったのです。もしその時に認知症の知識が少しでもあれば、病院に連れて行っていたのかなと思います。</p> <p>私たちの世代にも健康診断時等に、認知症についての簡単なチェック用のパンフレットのようなものを配布していただけたらと思います。ほんの1枚程度のものでも良いので是非お願いします。</p>
事務局	<p>高齢者を支える次の世代の方たちの理解が得られることは重要だと思います。今後も普及啓発活動を積極的に推進していきます。</p>
会長	<p>委員の皆様のご意見等もないようですので、(2)「認知症ケアパスの作成について」は、終わります。</p>
会長	<p>次に(3)「その他」について、事務局から報告事項等があります。</p>

	したらお願いします。
事務局	<p>本日審議していただいた内容をもとに、計画案を修正させていただきます。修正後、計画案について広く町民の皆様からご意見等をいただくため、平成27年1月9日（金）から平成27年1月23日（金）までパブリックコメントの募集を行います。</p> <p>次回の審議会は、平成27年1月27日（火）の午後2時からを予定しています。次回は、パブリックコメントの結果と介護保険料の改定について、審議していただく予定です。</p>
会長	<p>それでは、本日予定しておりました審議会の議題については、全て終了しました。</p> <p>以上をもちまして、平成26年度第2回高齢者保健福祉審議会を終了させていただきます。</p> <p>ご協力ありがとうございました。</p>
司会	<p>井上会長、ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様におかれましては、長時間にわたりご審議をいただきまして、誠にありがとうございました。</p>

7 その他

上記のとおり、第2回豊山町高齢者保健福祉審議会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長及び出席者2名が署名する。

平成27年1月7日

会長 井上 宜昌

署名人 安藤 律子

署名人 江崎 弘